独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和 7 年度第 2 回契約監視委員会審議概要

１　開 催 日

令和 7 年 7 月 25 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分

２　開催場所

外苑事務所大会議室 1（Web 会議システム併用）

３　出席委員（敬称略）

委員長　相葉　和良（弁護士）
委　員　宮本　和之（公認会計士）
委　員　児玉　進矢（監事）
委　員　大橋　玲子（監事）

４　議　　題

（１）令和 6 年度契約案件（令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月）の事後点検について
（２）2 か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について
（３）その他

５　審議概要

（１）令和 6 年度契約案件（令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月）の事後点検について

審議対象期間における契約案件 149 件のうち、以下の 7 件（新規一者応札案件 3 件、競争性のない随意契約 4 件）を抽出し、競争性の確保に関する点検を行った。

No.	件名
1.	運転手付き貸切乗用車による送迎業務の委託
2.	ハイパフォーマンススポーツセンターにおけるリネンサプライ業務
3.	ハイパフォーマンススポーツセンター管理・運営業務委託
4.	新秩父宮ラグビー場(仮称)整備・運営等事業の業績監視支援業務(財務・法務分野)
5.	日本青年館・日本スポーツ振興センタービル警備(受付)業務委託
6.	日本青年館・日本スポーツ振興センタービル設備管理業務等(日本スポーツ振興センター専有部分)
7.	国立競技場運営事業等のモニタリング支援業務

審議の結果、資料の追加提示による確認も含めて全て問題なしと了承された。
なお、委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆契約件名：運転手付き貸切乗用車による送迎業務の委託

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）新規１者応札案件とのことだが、前年度は複数者から応札があったということか。

（回答）令和 5 年度、令和 6 年度とも 2 者から競争参加資格確認申請があったが、2 か年とも 1 者が入札参加を辞退したため、実際に応札したのは 1 者となったものである。

（質問）辞退したのは 2 か年とも同じ業者か。

（回答）そうである。大手企業ではあるが、人員不足で手配ができないため辞退したとのことであった。

◆契約件名：ハイパフォーマンススポーツセンターにおけるリネンサプライ業務

契約種別	落札率	留意する点検事項
賃貸借	98.93%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）手を上げる業者はもっといそうだが、本件は特殊性があるのか。

（回答）単価契約ということで、物価の変動のリスクを業者が負うことになるので、その点を懸念することは考えられる。

（質問）単価契約という形態が一般的なホテルのリネンサプライ業務と異なるために敬遠されているのか。

（回答）他のホテルがどのような契約形態かという情報がないため比較はできていない。

（質問）大規模ホテルのリネンサプライをやっている業者であればできる業務だと思うが、既存業者以外への声掛けはしているか。

（回答）複数社から参考見積は取得しているが、その際に工場の場所や配送の関係などから見積書を出すことも難しいという業者もあった。

◆契約件名：ハイパフォーマンススポーツセンター管理・運営業務委託

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	99.87%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）業務が多岐にわたるため、再委託をする形になるのか。

（回答）既存の業者は、再委託をしているわけではなく、複数者で企業体を構成している。

（意見）包括的に業務を委託することでの効率性はあるが、業務内容によって人出不足が発生することも考えられるため、業務を分けて発注した方が応札しやすくなる可能性がある。

（回答）承知した。一つの考え方として参考にさせていただきたい。

（質問）契約金額に見合った業務品質という観点ではどうか。

（回答）業務改善命令を行うような事象もなく、問題ないと考えている。

◆契約件名：新秩父宮ラグビー場(仮称)整備・運営等事業の業績監視支援業務(財務・法務分野)

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

（質問）先行して実施した「新秩父宮ラグビー場整備事業ＰＦＩ手法による整備（財務・法務分野）検討業務」と本件を一括して発注しなかったのはなぜか。

（回答）ラグビー場の工事契約の発注前段階では今後の状況を見通すことが難しかったため、発注前の検討業務と、監視支援業務とは分けて発注したものである。
なお、業務が安定していけばコンサル業者に依頼する内容が減り、金額を圧縮していくことも想定されることから、監視支援業務も単年度で契約しているものである。

◆契約件名：日本青年館・日本スポーツ振興センタービル警備(受付)業務委託

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

◆契約件名：日本青年館・日本スポーツ振興センタービル設備管理業務等(日本スポーツ振興センター専有部分)

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

※上記2件は相互に関連する案件のため、まとめて審議

（質問）警備業務については3者の見積合わせをしており一定の競争性が確保されているが、設備管理業務については現行業者と随意契約とのことで、両者の決定プロセスが異なるのはなぜか。

（回答）設備管理業務については、日本青年館・日本スポーツ振興センタービルができた当初に管理組合において総合評価を実施して現行業者を決めており、その際は約20者の中から3者に絞った上で1者を選定して競争性があった。その後は現行業者と随意契約を行っている。

（意見）現状は随意契約を続けているが、今後は一定の期間が経ったら再び競争による業者選定を行うことを、管理組合のメンバーの一員であるJSCからも申し入れて欲しい。

（回答）承知した。時期を検討の上対応したい。

（質問）随意契約時の単価や人工数の確認は行っているのか。

（回答）契約時に、国土交通省が出している建築保全業務の労務単価の対前年アップ率と比較しながら協議して決めている。なお、設備管理業務は人工数ではなく実施項目に対する金額設定となっており、JSCの専有部については前契約時と金額が変わらなかったため、そのまま契約することとした。

（質問）ビルの持ち分割合はどのようになっているのか。

（回答）床面積に応じた割合になっており、日本青年館が約8割でJSCが約2割となっている。ビル全体としてホールやホテルの運営が占める割合が大きく、その上で設備管理や警備の業務がある。

◆契約件名：国立競技場運営事業等のモニタリング支援業務

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

（質問）アドバイザリー業務とモニタリング支援業務を一括で発注しなかったのはなぜか。

（回答）アドバイザリー業務の仕様の作成段階では国立競技場の運営事業者がまだ決まっておらず、どのようなモニタリング業務を行うかの仕様を作成することが困難であったためで

ある。また、業務の見通しが立たない中で複数年契約をすることもできず、単年度契約としたものである。

（質問）複数年契約という選択肢だけでなく、より競争性を高めることの検討はできるのか。

（回答）国立競技場の運営事業者の公募の過程からモニタリング基本計画等の議論まで継続的に信頼関係を築いて連携してきた既存業者と随意契約を締結しており、今後もこれまでの背景や実績を踏まえると、引き続き既存業者と進めていくことが望ましいと考えているが、金額の適正性や競争性の確保の観点からの検討が必要であると考えている。

（２）2か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について

令和 6 年度において一般競争入札を実施した結果、2 か年度連続一者応札となった 19 件について、内容の点検を行った。

No.	件名
1.	スポーツ振興事業助成金の実態調査の委託
2.	秩父宮記念スポーツ図書館 エフェメラの遡及登録、装備、手順書作成業務
3.	令和 7 年度 施設賠償責任保険
4.	令和 7 年度国立代々木競技場　一般廃棄物処理業務委託の調達
5.	ハイパフォーマンススポーツセンター　一般廃棄物処理業務の委託
6.	ハイパフォーマンススポーツセンター　産業廃棄物・リサイクル処理業務一式の調達
7.	パソコンのリカバリ業務委託
8.	映像ネットワークの SOC 及び CSIRT セキュリティ対応
9.	「アスリート育成パスウェイ」ウェブサイトのサーバ手配、保守・運用業務
10.	統計解析ソフトウェアの保守
11.	令和 7 年度　医療機器等の保守点検
12.	令和 6 年度ハイパフォーマンススポーツセンター入退室管理システムの保守業務
13.	令和 7 年度 トレーニング映像収録システム等の保守業務委託
14.	スポーツビデオデータベースのトランスコーダ保守パック
15.	令和 7 年度　衛生材料（医科）の購入
16.	令和 7 年度　ハイパフォーマンススポーツセンター　水処理薬剤の購入
17.	秩父宮ラグビー場及びテニス場（秩父宮ラグビー場敷地内）で使用するガスの調達
18.	ハイパフォーマンススポーツセンターで使用する電気一式の調達
19.	特定業務において年度末に必要となる資金の調達

審議の結果、全て問題なしと了承された。

なお、委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆No.1　スポーツ振興事業助成金の実態調査の委託

（質問）前年度からの契約額に変更が生じた理由について、人件費が上がったというのは、人数が変わったわけではなく、単価が上がったということか。

（回答）そのとおりである。

◆No.5　ハイパフォーマンススポーツセンター　一般廃棄物処理業務の委託

（質問）昨年より単価は安くなったとのことだが、安くなった理由は把握しているか。

（回答）なぜ単価が安くなったのかは把握していない。

◆No.8　映像ネットワークのSOC及びCSIRTセキュリティ対応

（質問）令和5年度の競争参加資格はA又はB等級とし一者応札となったものを、令和6年度にA等級のみに絞ったのはなぜか。

（回答）複数年契約に変更したこともあり、A等級のみでも応札者を確保できると考えたためである。

（意見）結果として1者であったため、次回はA又はB等級で実施した方がよい。

（回答）承知した。次回はそのように対応したい。

◆No.9　「アスリート育成パスウェイ」ウェブサイトのサーバ手配、保守・運用業務

（質問）令和5年度の競争参加資格はB又はC等級であったものを令和6年度にC等級のみに絞ったのはなぜか。

（回答）確認して後ほど回答させていただく。

＜確認後回答＞

令和5年度以前の調達時には、B又はC等級で公告を行ったものの、結果的にいずれもC等級の業者が落札をしていた。また、令和6年度の調達にあたり、事前にC等級以外の業者も含め幅広に見積依頼を行ったものの、見積書の提出があったのはC等級の業者のみであった。以上の点から令和6年度の調達ではC等級のみとした。

なお、今後の調達にあたっては、契約内容の点検を行うとともに幅広い等級の業者に参考見積を依頼した上で、対象とする等級の範囲を検討していきたい。

◆No.10　統計解析ソフトウェアの保守

（質問）前年に比べて予定価格が下がっているが、仕様は変更していないのか。

（回答）変更していないので、これまでの業務の状況も勘案した上での企業努力によるものと思われる。

◆No.11　令和7年度　医療機器等の保守点検

（質問）保守点検できる業者が限定される医療機器があった場合は随意契約にするのか、またはその機器だけ随意契約とし、それ以外の機器は一般競争入札とするのか。

（回答）業者が限定される機器については切り離した仕様にすることも考えている。

◆No.18　ハイパフォーマンススポーツセンターで使用する電気一式の調達

（質問）前年度から契約者が変わっているが、前年度の契約者が参加しなかったのはなぜか。

（回答）環境配慮契約法による裾切り基準を満たせなかったためである。

（質問）裾切り基準は努力義務ではなく必須なのか。

（回答）独法では必須となっている。

（質問）裾切り基準以外で、入札に参加しなかった理由は何か。

（回答）資料配布し入札に参加しなかった業者に不参加の理由を照会しているが、必ず回答をいただけるわけではないので、裾切り基準以外の理由については把握できていない。

（３）その他

委員からの意見等は特になし。